

ピアノソナタ全曲演奏会

ベートーヴェン

32人のピアニストによる

Aug. 7
No.1 ~ No.15



No.2 田中 あかね



No.1 楠木 由希子



No.6 荻野 由里可



No.5 榊原 響子



No.4 八島 伸晃



No.3 松島 千波



No.10 川端 友紀子



No.9 加藤 花音



No.8 今鋒 優太



No.7 柳澤 光彦

Aug. 8
No.16 ~ No.32



No.17 中山 ナミ子



No.16 加藤 七海



No.13 土橋 礼佳



No.12 増澤 明希子



No.11 吉岡 里紗



No.20 川村 美穂



No.19 阪本 彩楓



No.18 吉橋 雅孝



No.15 鹿俣 美湖



No.14 秋田 街子



No.24 野島 恵美



No.23 佐渡 建洋



No.22 清水 楓子



No.21 大塚 直子



No.28 今川 裕代



No.27 川谷 早紀



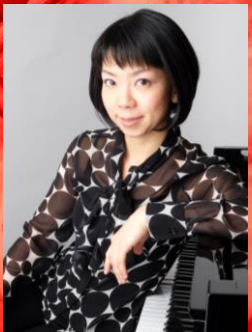
No.26 亀山 歩



No.25 藤岡 由記



No.32 川村 文雄



No.31 松本 望



No.30 北島 稚



No.29 後藤 泉

令和 6 年 8 月 7 日 (水)

13 時半開場
14 時開演

東京文化会館小ホール

一日券
自由席

前売り 5000円 当日 6000円

主催 一般社団法人 オフィスアドルフ

協賛 consonantia pianos

後援 公益社団法人 日本演奏連盟

朝日カルチャーセンター新宿

中野雄(音楽プロデューサー)

浅岡弘和(音楽評論家)

新田孝(指揮者)

広瀬康(ピアニスト 桐朋学園大学名誉教授)

《マネジメント》

公益社団法人 日本演奏連盟

(コンサート・アシスト)

03(3533)5131

《プレイガイド》

東京文化会館チケットサービス

03(5686)0650

イープラス eplus.jp

(スマートフォン/PC/コンビニエンスストア)



2024年8月7日（水） No.1 ～ No.15			演奏者プロフィール			No.3 松島 千波 Matsushima Chinami		
No.1 楠木 由希子 Kusunoki Yukiko 国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。国内外や大使館、領事館などで演奏活動。これまでにザルツブルグやポーランドを代表する室内楽と共演。「自分らしく生きる愛と平和の世の中を創る」ことを志に、現在、後進の指導の他にコンサートの企画・プロデュース、地域コミュニティを育む音楽プロジェクトを各地で行う。人と地域と音楽を繋ぐ集合住宅「音楽のいえ+」を監修。近年ではインドのデリー・コルカタ・チェンナイ各地で演奏活動を行いその様子を大手新聞各紙等に取り上げられる。三井物産公式冠コンサート、在チェンナイ、コルカタ日本国総領事館の協力を得て Tollygunge Club 等でソロリサイタル、ハンセン氏病コロニーへ訪問演奏、タゴール国際大学にて日本人初のピアノソロコンサートを行った。演奏表現学会会員。			No.2 田中 あかね Tanaka Akane 東京芸術大学音楽学部器楽科及び同大学院修了。在学中、安宅賞受賞。芸大オーケストラと共演。ミュンヘン国立音大マスターコース修了後、ザルツブルグモーツァルトウム音楽院で研鑽を積む。全日本学生コンクール、日本モーツァルト音楽コンクール等に入賞。1993年東京文化会館でデビューリサイタル。約20年に亘りドイツで活動する。毎年ミュンヘンのガスタイク等でリサイタル、又、朝日カルチャーセンター、学校訪問等レクチャーコンサートも行う。製作責任者にハインツ・ヴィルトハーゲン氏を迎えたCDを3枚リリース。中島和彦、深沢亮子、笠間春子、田村宏、ゲルハルト・オピッツ、ハンス・ライグرافの各氏に師事。一社）オフィスアドルフ代表理事。https://officeadolf.wordpress.com			2016 年昭和音楽大学器楽学科ピアノ演奏家コースを卒業し、昭和音楽大学主催の新人演奏会に出演。在学中、給費特待生。同年、昭和音楽大学同僚会海外留学奨学金を得て、イタリア国立A.ステッファニー音楽学園に留学し、修士課程、及びマスター（Second-level Professional Master's）を共に最優秀の成績で修了。在学中、イタリア国内数多くの奨学金を得る。イタリアでは、ピアノ独奏だけでなく、デュオから五重奏に至る幅広い室内楽のレパートリーで様々な演奏会に出演し、多くの音楽家と共演。これまでにピアノを新井典子、工藤美和子、田中あかね、林田枝実、M.フェラーティの各師、室内楽を三谷温氏、オペラ伴奏法を浅野菜生子、G.カッペレットの各氏に師事。		
No.4 八島 伸晃 Yashima Nobuaki 3歳からピアノを始める。麻布学園高等学校の音楽部所属中に音楽の道に興味を持ち始める。桐朋子供のための音楽教室を経て、桐朋学園大学音楽学部ピアノ科および作曲科を卒業。2013 年度桐朋学園作曲作品展、New York City Electroacoustic Music Festival 2016 に自作品を出品。第17 回ローゼンストック国際ピアノコンクール入賞。ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンにて Marie-Catherine Girod 氏のマスタークラスを受講。これまでにピアノを秀野木綿子、山田富士子、作曲是三瀬和朗、久木山直、ジャズピアノを若井優也各氏に師事。ラヴェル、ドビュッシーを中心とした近代フランス音楽が大好き。自作品、ジャズにもフォーレの教会旋法を生かしたメロディーや、ラヴェルの緻密な和声進行、ドビュッシーのピアノリズムの影響を受けている。クラシックに限らず幅広いジャンルの演奏活動を行う。			No.5 榊原 響子 Sakakibara Kyouko 桐朋学園大学音楽学部音楽学科および同大学大学院音楽研究科修士課程修了。第30 回、第31 回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。2019 年、上野学園大学による午後のコンサート・シリーズ24「クララ・シューマンをめぐる世界」に出演し、好評を博す。2020 年、弦管楽器で楽しむ「思い出の学校クラシックコンサート」に出演。2023 年、ミュンヘン（ドイツ）にて、ハンス・ユルグ・シュトループ氏のマスタークラスを受講し、選抜コンサートに出演。これまでにピアノを坂元美由記、松山優香、松井美芽、山崎紫乃、広瀬康、二台ピアノを武田美和子、室内楽を佐藤まどか、松崎裕、ミハイル・カンディンスキーの各氏に師事。			No.6 荻野 由里可 Ogino Yurika 大阪府出身。桐朋学園大学音楽学部を経て、同大学院音楽研究科修士課程を修了。6歳よりヤマハ音楽教室に所属、小6よりヤマハマスタークラスピアノ演奏研究コースに入る。ピアノを中川知保、川村文雄、今井彩子、入江一雄、2台ピアノを若林顕、吉武優の各氏に師事。2011 年ヤマハ JOC ハイライトコンサート in 大阪、2015 年ヤマハ JOC シティコンサート in 大阪に出演。JPTA ピアノ・オーディション B～D 部門全国大会、及びフレッシュコンサートに出演。第23 回大阪国際音楽コンクール2台ピアノ部門エスポアル賞受賞。NPO 法人関西音楽人クラブ主催のコンサートに出演。第88 回 TIAA 新人演奏会オーディション合格、新人演奏会に出演（2024 年6月）。		
No.7 柳澤 光彦 Yanagisawa Mitsuhiko 千葉県出身。東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業、同大学院修了後、全額奨学金を得て米シカゴのデポール大学音楽学部で研鑽を積む。これまでに猶原和子、石井克典、関根有子、野島稔、G.ヴァナナーゼ、若林顕の各氏に師事。日本演奏家コンクール第1位、かざさアカデミア音楽コンクール第3位ほか、複数のコンクールで入賞を果たす。継続的なソロリサイタル開催に加え、声楽を中心とする伴奏者として各地で活躍し、現在はシティオペラちば、シャウティンクフォックス、アンサンブルシエルマルディ、アンサンブルふたわ、女声コーラズドルチェの各団体でピアニストを務める。音楽館ピアノ講師、千葉県音楽協会会員。			No.8 今鉢 優太 Imahoko Yuta 幼少より母の手ほどきによりピアノを始める。第67 回全日本学生音楽コンクール小学生部門入賞。第8 回北本ピアノコンクール第1位、第13 回大阪国際音楽コンクール第3位など、さまざまなコンクールにて多数受賞。藤本紀子、広瀬康の各氏に師事。現在、慶應大学にて量子コンピュータを研究中。			No.9 加藤 花音 Kato Kanon 11 歳よりピアノを習い始める。2018 年、福井県美浜町なびあす主催「ポルタ De♪ファツィオリ」のピアノ育成プログラムに参加し、本格的なレッスンをステージ発表を経験する。第9 回・第10 回日本バハコンクール全国大会金賞・銅賞、第11 回同大会 in Fukui 最優秀賞。第39 回 JPTA ピアノオーディション地区大会優秀賞、全国大会出場。第33 回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。現在、桂屋京子、川村文雄の各氏に師事。福井県在住、敦賀気比高等学校在学中。高校生になりピアノと勉強の両立の難しさや進路に悩みながらも様々な挑戦を続けています。		
No.10 川端 友紀子 Kawabata Yukiko 桐朋女子高等学校音楽科、慶應義塾大学卒業。バリ・エコールノルマル音楽院高等演奏課程修了、及び室内楽クラスを審査員奨学一致で修了。(財)野村国際文化財団、Zygmunt Zaleski Stichting 財団奨学生。PTNA 全国大会銅賞、全日空賞受賞。全日本学生音楽コンクール東京大会本選入選。マイエンス国際ピアノコンクールファイナリスト。欧州、日本でのソロリサイタルをはじめ、マコン夏の音楽祭等、各地のコンサート、室内楽・オーケストラ公演に出演。これまでに、海老原るみ子、多美智子、広瀬康、セシル・ユゴナル＝ロッシュ、ジャック・ルヴィエの各氏に師事。桐朋学園大学特別招聘講師、同大学音楽学部附属子供のための音楽教室お茶の水教室講師。			No.11 吉岡 里紗 Yoshioka Lisa 5 歳からピアノを習い始め、香川県立坂出高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。現在、同大学大学院1 年在学中。PTNA ヤマハ特別賞、香川県支部長賞受賞 高松国際ピアノコンクールブレバント・アンサンブルフェスティバル出演。高松市文化芸術活動助成事業アンサンブルワークショップ in 高松終了コンサート出演。六本木国際コンクール動画部門3 位 2023 年ドイツにてハンス・ユルク・ストゥルプ氏によるマスタークラス受講。今までに植松起代子、山内由佳、前田拓郎、田隅靖子、広瀬康の各氏に師事。			東京音楽大学、及び、東京ミュージック&メディアアーツ尚美ディプロマコースピアノ科卒業。卒業演奏会、及び、ディプロマフレッシュコンサートに出演。ロゼ・ピアノコンクール99 一般の部A 第2 位、その他コンクール、オーディション入賞歴多数。国内外のサマーセミナーに参加、及び国内外のピアニストのレッスンを受講。ソロコンサートを2 回、お話付きミニコンサートを4 回シリーズで開催。ジョイントコンサートを3 回開催。クラクフ室内管弦楽団とショパンのピアノ協奏曲第2 番を共演。これまでに、吉岡優子、玉置善巳、梅根恵、関根有子、故堀江孝子に師事。現在、演奏表現学会会員、クローバーピアノ教室を主宰、後進の指導にあたっている。		
No.13 土橋 礼佳 Dohashi Reika 桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。同研究科修了。ドイツ国立マンハイム音楽大学大学院ソリスト演奏家課程を最高点で修了。ドイツ国家演奏家資格取得。PTNAピアノコンペティション銀賞、パドヴァ国際音楽コンクール第1位他多数入賞。ドイツ・ハーフェランド音楽祭、イタリア・パドヴァ音楽祭など、ヨーロッパ各地の演奏会に出演。国内外のオーケストラとピアノ協奏曲を共演。日本演奏連盟主催「東京文化会館ピアノリサイタル」に出演。ソロ及び室内楽奏者として演奏活動の傍ら、桐朋学園大学附属子供のための音楽教室ピアノ科講師として後進の指導にもあたり、PTNA指導者賞受賞。日本クラシック音楽コンクール全国大会他審査員。			No.14 秋田 街子 Akita Machiko 桐朋学園大学卒業、同研究科修了。卒業演奏会出演。第56、57 回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。第2 回北本ピアノコンクール第1 位、実行委員長賞。第2 回栃木県ピアノコンクール第1 位、栃木県知事賞。第16 回コンセール・マロニエ21 第3 位。銀座王子ホール等日本各地にてソロリサイタル開催。足利市民交響楽団とピアノ協奏曲共演。NHK 交響楽団メンバーによる室内楽演奏会にてピアノ五重奏曲共演。第9 回栃木県ピアノコンクール指導者賞。第29、30 回日本クラシック音楽コンクール優秀指導者賞。日本クラシック音楽コンクール、全日本ジュニアクラシック音楽コンクール全国大会等審査員。これまでに須永多恵子、清水和音、広瀬康の各氏に師事。現在、桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室講師。			No.15 鹿俣 美湖 Kanomata Miumi 東京音楽大学卒業後、同大学院修了。第4 回六本木国際ピアノコンクール優秀賞。第29 回日本クラシック音楽コンクールピアノ部門大人の部全国大会出場。モスクワ音楽院にてドミトリー・カブリーのマスタークラスを受講。中学・高等学校教諭専修免許取得。リトミック指導資格取得。これまでにピアノを上柿洋子、山路和恵、石戸谷香子、鈴木宏子、故・海老原直美、故・後上聡司、石井理恵に師事。現在、及川音楽事務所に所属。また、個人でクラシック、ポップス、子供向けなど幅広いジャンルのコンサートを主催し出演している。小学校、保育園、旅館、ラウンジなどでも演奏。音楽教室で演奏講師、後進の指導にもあたる。[X・Instagram] miumi_piano		
2024年8月8日（木） No.16 ～ No.32								
No.16 加藤 七海 Kato Nanami 桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。第30 回 JPTA ピアノ・オーディション地区優秀賞受賞、フレッシュ・コンサートに出演。第6 回 Kids ピアノ・ヴァイオリンコンクール第2 位。第4 回六本木国際ピアノコンクール大学・一般の部第2 位。第31 回日本クラシック音楽コンクールピアノ部門大学女子の部第5 位。2022 年度、学内成績優秀者による Student Concert に出演。第32 回京都フランス音楽アカデミー受講、優秀受講生による受講生コンサートに出演。第26 回リスト音楽院セミナー受講、優秀受講生による受講生コンサートに出演。2024 年秋より、ハンガリー・ブダペストのリスト音楽院(The Liszt Ferenc Academy of Music)に入学予定。荻野千里、広瀬康の各氏に師事。			No.17 中山 ナミ子 Nakayama Namiko 桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。卒業後は柳川守のもとで研鑽を積む。在学中より渡仏を重ね、バスカル・ドゥヴァイヨンに、その後パリへ留学し、パリ・エコールノルマル音楽院にてエリック・ヴィドンスに学ぶ。東京にて定期的にソロリサイタルを開催。在日フランス大使館後援「フランス音楽の午後」「ラヴェルの世界」など、近年はフランス作品でのリサイタルも好評を博す。2019 年12 月、1st アルバム「鏡 -ミロワール- ラヴェル・ピアノ作品」をリリース。演奏のほか、マイクバランス、編集ディレクション、CD デザインも手掛け、『レコード芸術』の新譜月評に掲載される。			No.18 吉橋 雅孝 Yoshihashi Masataka 桐朋学園大学卒業。これまでに深澤亮子、泉晶子、広瀬康の各氏に師事。またライナー・ベッカー、アンジェイ・ブルーベル各氏のレッスンを受ける。日澳文化協会ガラコンサート、ちょうふ音楽祭、荻窪音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭エリアコンサート（2008-2019 年）ほかに出演。三鷹市管弦楽団とラフマニノフ作曲ピアノ協奏曲第2 番を演奏する(2014 年)ほかコンサートや室内楽、アマチュアオーケストラのエキストラなどで活動している。公益財団法人日本ピアノ指導者連盟(JPTA)会員。ブログ yoshi-masa.hatenablog.com		
No.19 阪本 彩楓 Sakamoto Sayaka 大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業後渡欧。ウィーン国立音楽大学修士課程ソリスト科、そして同大学 Postgraduate 課程を優秀の成績で卒業。第65 回全日本学生音楽コンクール大阪大会入選。第18 回ショパンコンクール in Asia 第2 位。第5 回 Tadini 国際音楽コンクール（イタリア）にて第2 位、第21 回 Euterpe 国際音楽コンクール（イタリア）にて第1 位等、その他多数の国内外のコンクールにて入賞を果たす。また、ウィーン国立音楽大学在学中にオーストリア、イタリアにて定期的にソロリサイタルを行う。日本演奏連盟主催「新進演奏家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ Osaka」に選出され、住友生命いずみホールでのソロリサイタルに出演。			No.20 川村 美穂 Kawamura Miho 武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科有鍵盤楽器(ピアノ)専攻卒業。ドイツ・ハンブルク音楽院にてピアノを専攻、1 年間のコースを修了。在独中、元西ドイツ首相H.シュミット氏の御前にてトリオ演奏やEutiner Weber-Tage2004 にて歌曲伴奏を務めるなど、室内楽・伴奏方面でも研鑽を積む。これまでに迫田時雄、田中麗子、M.ヴェーバーの各氏に師事。第7 回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。第11 回カワイクラシックオーディション入賞、他あり。ソロリサイタル開催ほか、東京交響楽団団員とトリオ、2 台ピアノ等室内楽含め、数々のリサイタルに出演している。現在、埼玉福祉保育医療製菓調理専門学校保育士科非常勤講師。			No.21 大塚 直子 Ootsuka Naoko 武蔵野音楽大学卒業。後藤重樹、檀原隆義、小林孝典、岡野寿子、田中麗子の各氏に師事。高崎市新人演奏会、ぐんま新人演奏会、家永ピアノコンサート、TEPCO 若い芽コンサート、コンサートぐんま等多数出演。1991～1992 年ウィーンに留学し、故レオニード・ブルンベルク氏に師事。ウィーン・ベートーヴェンハウス、ハイリゲンクロイツ城、ウィーン国立音大コンツェルトザールでの選抜演奏会に出演。帰国後も数々のリサイタルやチャリティコンサート、群馬県新人芸術派遣事業での草津アカデミー研修や音楽小劇場、派遣新人演奏会など、幅広く活躍。2016 年より日光の田母沢御用邸での両毛茶友会企画の連続演奏会に出演。高崎演奏家協会、群馬音楽協会、日澳文化協会、各会員。		
No.22 清水 楓子 Shimizu Fuhko 東京音楽大学音楽学部器楽専攻ピアノ科卒業。現在同大学院器楽専攻鍵盤楽器研究領域ピアノ1 年に在学中。第32 回日本クラシックコンクール大学生部門全国大会第5 位。第24 回日本演奏家コンクール大学生部門芸術賞受賞。これまでにピアノを松田映子、橋場多恵子、浜野与志男、石井克典の各氏に師事。			No.23 佐渡 建洋 Sado Takehiro 東京学芸大学附属高校を経て、2012 年東京藝術大学音楽学部卒業。在学中、同大学モーニングコンサートシリーズに選出、藝大フィルハーモニアと共演。同声会賞受賞、調律師協会主催新人演奏会出演。2015 年同大学大学院修了。ドイツ・ザクセン州より奨学金を得て、2015 年渡欧、2018 年ドレスデン音楽大学マスタークラスを修了。帰国後は東京を中心に演奏活動を展開、後進の指導にも力を注ぐ。元東京藝術大学ピアノ科非常勤講師。金澤希伊子、多美智子、迫昭嘉、Winfried Apel の各氏に師事。日本ピアノ教育連盟(JPTA)正会員。JPTA ピアノオーディション、日本クラシック音楽コンクール全国大会審査員。			No.24 野島 恵美 Nojima Emi 桐朋女子高等学校音楽科、同大学音楽学部卒業、同大学研究科修了。同大学卒業演奏会及び読売中部新人演奏会に出演。三重県器楽コンクール第1 位、全日本学生音楽コンクール入賞他受賞歴多数。桐朋アカデミーオーケストラ、セントラル愛知交響楽団等と共演。室内楽をポーランド国立放送交響楽団メンバーと共演。「技術の確かさが丁寧な音楽造りに結びついて印象である。」(音楽の友2011 年4 月号)等その演奏は高い評価を得ている。今年4 月にリサイタル(東京渋谷)を開催。ピアニスト藤本江利子氏と企画する「ふたりのフランチ」が好評を得ており、今夏リスト作曲巡礼の年全曲演奏会を開催予定(8/25 五反田文化センター)。「音楽家のしごと塾」を主宰。MBA・中小企業診断士。定行和子、佐野翠、ヴォスクレセンスキー、松岡真子、干野宜大各氏に師事。Fierté 専属アーティスト。		
No.25 藤岡 由記 Fujioka Yuki お茶の水女子大学大学院修了。これまでに日本のほかオーストリア、ドイツ、ハンガリー、フランス、ポーランドにおいてコンサートに出演。Luz Leskowitz、Salzburger solisten、Prima vista など海外の演奏家との室内楽共演も多い。2017 年 Marc Callahan と共演したシューベルト《冬の旅》は、誌上で高く評価された。一方、日本人作曲家のピアノ作品を研究し日本音楽学会等で論文を発表。博物館やTV 番組等への資料提供も多い。CD ライナー等の執筆、各種コンクール審査員などへの活動は多岐に渡る。現在、東海大学、茨城キリスト教大学講師。遠藤秀一郎、Adam Wibrowski 各氏に師事。			No.26 亀山 歩 Kameyama Ayumu 宮城県出身。桐朋学園大学附属桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を経て桐朋学園大学卒業。第9 回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan 全国大会銀賞。第22 回ショパン学生ピアノコンクール in TOHOKU 大学生の部2 位。第8 回仙台国際音楽コンクール関連事業街かどコンサート「はばたけコンチェルト Vol.3」出演(地震によりクロード・ドコンサート。これまでにピアノを小林真理子氏、竹内啓子氏、現在は沼沢淑音氏、島田彩乃氏に師事。室内楽を川村文雄氏、沼沢淑音氏、入江一雄氏、三原美紗子氏、若林顕氏、豊田弓乃氏、吉武優氏に師事。チェンバロを植山けい氏に師事。現在桐朋学園大学大学院音楽研究科博士後期課程1 年に在籍。			No.27 川谷 早紀 Kawatani Saki 桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部を経て、同大学院音楽研究科修士課程修了。第70 回全日本学生音楽コンクール高校の部東京大会入選。第11 回音の夢ピアノコンクールグランプリ。第63 回全東北ピアノコンクール第2 位。第3 回六本木国際ピアノコンクール第1 位。銀座山野楽器セレクションコンサート、国立音楽大学附属高等学校招待演奏会、桐朋学園室内楽演奏会、桐朋学園ラテンタイムコンサート in 表参道に出演。ブラサマーアカデミー2018、第43、44 回霧島国際音楽祭マスタークラス受講。これまで川村文雄、末永隆一、広瀬康の各氏に、室内楽を練木繁夫、山崎伸子、藤原浜雄、漆原啓子の各氏に師事。		
No.28 今川 裕代 Imagawa Hiroyo シュトゥットガルト国立音楽大学、ザルツブルク・モーツァルトウム国立音楽大学修士課程首席卒業。A.マルシャン、H.ライグراف各氏に師事。シュベルト国際ピアノコンクール、ブラームス国際音楽コンクールにて第2 位、サレルノ国際ピアノコンクール第1 位及び最優秀ドビュッシー賞、オーストリア政府よりヴェルディグング賞受賞。英国王室宮殿内での御前演奏やヨーロッパ各地の音楽祭出演のほか、N響、東京フィル、新日本フィル、チェコ国立ブルノフィル等、国内外の数多くのオーケストラと共演。多彩な音色と繊細な叙情性、洗練された音楽性が高く評価され、幅広く活動を展開している。現在、大阪芸術大学演奏学科教授、及び東京音楽大学指揮科特別アドヴァイザーを務める。			No.29 後藤 泉 Goto Izumi 桐朋学園高校音楽科を経て、桐朋学園大学卒業。同大学アンサンブル・ディプロマコース修了。田沢恵巳子、ゴールドベルク山根美代子、三浦みどり、P.ボンティエの各氏に師事。ウィーン・フィル首席奏者をはじめ海外のトップ奏者と数多く共演するほか、ソリストとしても内外のオーケストラと協演。ベートーヴェン交響曲（リスト編曲ピアノ版）第1 番、第3 番「英雄」、第4 番、第6 番「田園」、第9 番「歓喜の歌」の3 枚のCD をリリース。2020 年ベートーヴェン生誕250 年に向けて行われた、ピアノソナタ全32 曲のレクチャーコンサートが完結。統編としてベートーヴェン交響曲（リスト編曲ピアノ版）シリーズが行われるなど様々な形で演奏活動が続いている。			No.30 北畠 稚 Kitabatake Waka 東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒。ピアノを中島和彦、三木香代両氏に、オルガンを植田義子氏に師事。在学中、給費入学奨学金及び特待生奨学金を受ける。その後、オーストリア国立グラーツ音楽大学及び大学院ピアノ科を卒業。ピアノをアレクサンドル・ザッツ氏に師事。芸術修士号を取得。ウィーン・ベーゼンドルファー社より奨学金を授与される。これまでにソリスト及び伴奏者としてコンサート出演の他、声楽、バレエ、合唱指導、指揮法等、各種講座にて伴奏ピアニストを務める。埼玉県立松伏高等学校音楽科非常勤ピアノ講師。		
No.31 松本望 Matsumoto Nozomi 北海道出身。東京藝術大学大学院修士課程作曲専攻修了。バリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科首席卒業。2003 年東京文化会館主催合唱作品作曲コンクール最優秀賞。2007 年第4 回リヨン国際室内楽コンクール、2009 年第55 回マリア・カナルス国際音楽コンクール・ピアノリオ部門でそれぞれ第1 位受賞。在学中より作曲と演奏の両分野で活動を展開し、作曲では近年、全日本合唱コンクールやNHK 全国学校音楽コンクールの課題曲の作曲者となり注目を集める。演奏ではアンサンブルを中心に活動、国内外のアーティストと共演を重ねている。東京藝術大学弦楽科伴奏助手を経て、現在、国立音楽大学、洗足学園音楽大学、各非常勤講師。			No.32 川村 文雄 Kawamura Fumio 福井県生まれ。桐朋学園大学音楽学部演奏学科を首席で卒業。第67 回日本音楽コンクールピアノ部門第2 位、第23 回ポツォーリ国際ピアノコンクール最高位(1 位なしの2 位)。第51 回マリア・カナルス国際音楽コンクールピアノ部門第3 位。2002 年の東京文化会館におけるデビューリサイタル(日本ショパン協会主催)を皮切りに各地にてソロ活動を展開し、コンチェルトや室内楽の共演も多い。2008 年より2021 年にかけて、桐朋学園大学音楽学部および桐朋女子高等学校音楽科（男女共学）にて後進の指導にあたる。これまでに大野真嗣、広瀬康の両氏、ディーナ・ヨッフエ氏等に師事。					